

夢タウンまつぶし

# 議会だより

第117号

令和4年4月26日発行

## 3月定例会

- 令和4年度一般会計予算 …… 2・3P
- 議案・補正予算 …………… 4P
- 意見書 …………… 5P
- 2月臨時会 …………… 6P
- 10人の議員が町政を問う …… 7～11P

古利根川桜並木

# 各世代が笑顔あふれる まちづくり実現へ

一般会計予算	90億3,500万円
特別会計予算	58億8,449万円
企業会計予算	8億3,933万円

## 予算=賛成多数で可決

### 令和4年度の重点施策

高齢化社会の交通手段確保、松伏田島産業団地での就労の確保、子育て環境の充実、SDGs 持続可能な社会づくりとして貧困世帯の解消、ごみの減量や地球温暖化防止、町の賑わい・魅力の創出・活性化拠点となる道の駅の整備等これらの施策を積極的に取り組んでいく。

施策	主な経費	予算額
子育て支援	○こども医療費給付費 ○学童クラブ指定管理費 ○杉の子学童クラブトイレ改修工事 ○フードパントリー事業補助金	18億3,722万円
健康・福祉・ 社会保障	○障がい児(者)生活サポート事業補助金 ○高齢者タクシー等経費 ○買い物支援事業補助金 ○個別避難計画作成業務委託料	20億7,942万円
人権・男女共同 地域コミュニティ	○公民館設備改修工事設計業務委託料 ○偉人マンガ製作支援業務委託料	2億1,337万円
産業振興	○工事関係測量設計委託料（赤岩地区内の水路工事） ○農業用施設保全管理活動補助金 ○町商工会助成金	8,926万円
生活基盤整備	○町道8号線舗装修繕工事費 ○公園施設長寿命化実施設計業務委託料 ○地下鉄8号線建設促進・誘致期成同盟会負担金	5億5,006万円
生活環境	○リサイクルセンター整備工事費 ○リサイクルセンター仮設施設等撤去工事費 ○個別避難計画作成業務委託料	11億9,648万円
行財政運営	○松伏町役場本庁舎外壁改修工事費 ○保健センター基本設計業務委託料 ○第6次総合振興計画策定業務委託料	13億3,959万円

## 1 総合的なごみ処理体制の充実

問 リサイクルセンター整備費について、施設の概要は。

答 整備の発案から、20年余りの時間がかかった。このたび、新年早々に先行オープンという運びとなった。施設の概要では、敷地面積約3,900平方メートル、工場とストックヤード棟からなる鉄骨の二階建て。床面積は約1,400平方メートル。また、総事業費は、令和3年度までの分として、見込みで、約8億円を用意している。新年度の工事は、現在の仮設処理場を撤去し、その後、駐車場の整備、外構の工事を実施し、フルオープンに向け、仕上げ工事を実施したい。

## 2 健康増進と利便性向上

問 保健センター基本設計業務委託料347万6,000円の内容は、建て替えを前提とし基本設計の委託をするのか、あるいは、建て替えだけではなく、修繕という形も想定して委託するのか。

答 保健センターとして必要とされる機能、役割等を検討し、相談室や健診室などの必要部屋数など、まずは、大きさなどの設計条件を整備して、必要な建物の面積、または建物の規模を導き出し、建設工事に伴う基本設計を策定していきたいと考えている。建て替えが望ましいのか、または修繕が可能なのか、費用対効果など、長期的な展望に立って様々な検討をしていく。

## 3 災害時の備え

問 備品購入費、災害対策用備蓄資機材の内容は。

答 災害時に備えて必要となる資機材を備蓄するための経費。令和4年度は、災害時避難所の開設に必要な発電機の購入、現在建設中の防災倉庫で使用する資機材を購入するもの。特に防災倉庫で使用する資機材としては、1階防災倉庫において資機材などを整理保管するために使用する際のスチール棚、2階の災害対策本部で使用するテーブル、また椅子などの購入を予定している。

## 討論

### 賛成

松伏町の高齢化対策、子育て環境、貧困対策、ごみ対策など、松伏の活性化等の施策を掲げている。最少の予算で最大の効果を果たすよう期待する。コロナ関連事業では、迅速かつ着実に業務を遂行することに強く期待する。人口減少を食い止め、人口増、そして定住化の推進のためにも、必要な措置を講じることを望む。

厳しい財政環境にありながら、予算が編成されたことに、敬意を表したい。持続可能かつSDGsの17の目標を意識した社会づくり、安心安全なまちづくりに期待できるもの。課題解決に、確固たる施策で対応していくまちづくりが求められている。新型コロナに打ち勝つべく、町の姿勢を強く打ち出している予算である。

歳入確保に努めたことを評価する。インフラ整備と企業誘致が行われ、財源を確保した上での積極的な町民サービスの向上を目指したいとする考えを評価する。令和4年度の一般会計予算が、松伏町の新たなスタートとなることを念願して、適切に、公平に、速やかに予算が執行され、町民の福祉が向上することを期待する。

今後も引き続き、財政運営の根幹となる自主財源の確保に取り組み、企業誘致を着実に進め、土地利用をしっかりと検討し、新たな歳入確保に力を入れていただきたく思う。自主財源の乏しい松伏町にとって、ニーズに応え、変化し続けるサービスマネジメント、行財政マネジメントの視点が欠かせないものとする。

### 反対

町が直面している課題について、十分予算措置されていない部分が目立つ。歳入の確保が大きな課題だ。高齢化が進む中で、老人福祉職員の配置は増えていない。高齢者のための交通問題は不十分な状況で、きちんとした調査や計画をつくり、政策を練り上げていく必要がある。子育て支援の充実は、決して十分ではない。広域行政の負担金は、いろいろな問題がある。防災、排水対策が必要。

人事

松伏町副町長の選任

鈴木 寛氏 (再任) 任期：令和4年4月1日から令和8年3月31日まで

松伏町固定資産評価審議委員会委員の選任

高橋 久子氏 (新任) 任期：令和4年4月20日から令和7年4月19日まで

村田 光義氏 (再任) 任期：令和4年6月1日から令和7年5月31日まで

松伏町農業委員会委員の任命 任期：令和4年4月7日から令和7年4月6日まで

永野浩司氏(下赤岩) 横川朝治氏(大川戸) 山崎久俊氏(上赤岩) 藤江健広氏(大川戸) 石塚 要氏(松伏)  
山崎秀夫氏(大川戸) 須賀喜佐子氏(上赤岩) 岡野正幸氏(金杉) 高橋 實氏(魚沼) 柴田光善氏(魚沼)  
岡田嘉男氏(田島) 八木大輔氏(田中) 小島康平氏(築比地) 鈴木洋子氏(大川戸) ※ ( ) 内は住所地名

条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

趣旨：非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件の緩和（在職期間1年以上との要件の廃止）  
育児休業しやすい職場環境の整備（職員への育児休業に係る研修の実施・相談体制の整備）

松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

趣旨：不妊治療のための休暇 年間5日（体外受精その他の規則で定める治療は10日） 単位：1日、1時間

1. 令和3年度松伏町一般会計補正予算

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第10号)

3億284万円

<b>【主な歳入】</b>	地方消費税交付金	3,897万円	<b>【主な歳出】</b>	総務費	358万円
	地方交付税	4億3,029万円		民生費	1億1,716万円
	国庫支出金	4,945万円		農林水産業費	1,656万円
	県支出金	6,134万円		諸支出金	1億9,999万円
	繰入金	△2億5,690万円			
	町債	△3,813万円			

**主な質疑** 問 諸支出金 公用・公共用施設整備基金積立金1億9,999万円増額の理由は。  
答 老朽化に伴う保健センターの建替えを含めた費用の積み立てを行う。総工費約5億6,000万円以上を想定している。

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第11号)

675万円

小中学校の新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品及び備品購入費の増額。

<b>【主な歳入】</b>	国庫支出金	338万円	<b>【主な歳出】</b>	教育費	675万円
	繰入金	338万円			

2. 令和4年度松伏町一般会計補正予算

令和4年度松伏町一般会計補正予算 (第1号)

1億5,072万円

新型コロナウイルス感染症対策に係る中小企業等支援金及び保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金の計上等に伴う予算の補正。

<b>【主な歳入】</b>	国庫支出金	1億4,072万円	<b>【主な歳出】</b>	総務費	1,855万円
	県支出金	209万円		民生費	1,658万円
	繰入金	791万円		衛生費	1,829万円
				商工費	7,847万円

**意見書・決議**

(一部省略) ※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

**ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議**

**可決**

本年2月24日から開始されたロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙である。このような力による一方的な現状変更の試みは、国際秩序の根幹を揺るがす明白な国連憲章並びに国際法違反であり、断じて許すことはできない。よって、松伏町議会は、ロシアによるウクライナ侵略を激しく非難するとともに、国連憲章にのっとり国際法を遵守し、軍の即時撤退と平和的解決を行うよう強く求める。以上、決議する。

**介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書**

**可決**

政府に対して、地域の介護サービスを持続可能なものとするために、以下の事項に対して特段の配慮を求める。

- (1) 事務手続きの簡素化に最大限努めること。
- (2) 「介護職員等特定処遇改善加算」の配分方法について、加算金の弾力的な運用が可能となるよう所要の措置を講じること。
- (3) 原則3年ごとに行う公的価格の見直しにおいては、介護報酬申請の手続きの簡素化と、人材確保への事業者の裁量権を拡大するための制度の刷新を検討すること。

**地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書**

**可決**

政府に対して、地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について特段の取り組みを求める。

- (1) すべての子どもたちの学びの継続のために すべての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童生徒への柔軟な対応など、誰もがどこでも安心して学びが継続できるように、所要の措置を講じること。
- (2) 医療への適時適切なアクセスのために すべての住民が「かかりつけの医師」に繋がれるための取り組みを強化すること。
- (3) 新しい分散型社会の構築のために (略)
- (4) 持続可能な地域の医療と介護のために (略)

**福祉・介護、保育などのケア労働者の抜本的な処遇改善を求める意見書**

**否決**

**日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書**

**否決**

**地下鉄8号線の建設の実現に向けた基金の再設置を強く求める決議**

**委員会へ付託**

主な議案の採決 件名 (3月定例会)	議員名												
	佐藤 永子 (自)	長谷川 真也 (未)	松岡 高志 (未)	福井 和義 (無)	田口 義博 (自)	高橋 昭男 (自)	増田 秀雄 (未)	川上 力 (公)	吉田 俊一 (共)	砂川 清時 (自)	高野 祐大 (チ)	村上 真由美 (公)	平野 千穂 (共)
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(議案第21号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例(議案第23号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度松伏町一般会計予算(議案第30号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町国民健康保険特別会計予算(議案第31号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町介護保険特別会計予算(議案第33号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町後期高齢者医療特別会計予算(議案第34号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
<b>&lt;意見書・決議&gt;</b>													
ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し平和的解決を強く求める決議(発議第1号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書(発議第3号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書(発議第4号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉・介護、保育などケア労働者の抜本的な処遇改善を求める意見書(発議第5号)	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	◎
日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書(発議第6号)	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	○
地下鉄8号線の建設の実現のに向けた基金の再設置を強く求める決議(発議第7号)	総務産業常任委員会へ付託										◎		

(○)=賛成、(●)=反対、(◎)=提出者(会派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、無=無所属クラブ、チ=チェンジ松伏

# 臨時会

2月3日に開催されました

提出された議案は2件すべて可決された。

## 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度松伏町一般会計補正予算(第8号)）

子育て世帯等臨時特別支援事業の実施に伴い、緊急に令和3年度松伏町一般会計予算を補正する必要が生じ、令和3年12月17日に令和3年度松伏町一般会計補正予算（第8号）を専決処分したものと

### 主な質疑

- 問 子育て世帯等臨時特別給付金2億2,040万円の積算根拠について聞く。
- 答 令和3年9月30日を基準として申請が要らないプッシュ型で対応している児童手当対象児童数3,403名、申請が必要となる16歳から18歳の児童、公務員世帯の児童、対象申請期間令和4年3月31日までに出生するお子さんを見込んで合計4,408名に現金給付分、今回の8号分で5万円に5万円を乗じた2億2,040万円となる。

## 令和3年度松伏町一般会計補正予算（第9号）

松伏町役場第二庁舎空調設備改修工事費及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金の計上等に伴い、予算の補正をするもの

### 主な質疑

- 問 住民税非課税世帯等臨時給付金3億6,000万円の積算根拠について聞く。
- 答 非課税世帯の方に世帯当たり10万円を交付する制度。令和3年度住民の課税者データを税務課から提供してもらい、そこから計算をして課税世帯を9,007世帯と算定した。住民税の課税は、令和3年1月1日の世帯数が1万2,115世帯となっている。よって課税世帯と想定している9,007世帯と住民情報の世帯数1万2,115世帯の差分3,108世帯が非課税世帯と想定している。給付金は、令和3年12月10日の世帯数で把握をするので増加率を勘案して3,120世帯と補正し、生活保護世帯280世帯を加えて最大値は、3,400世帯と見込んでいる。

## 町政に関する

### 一般質問の主題

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

#### 川上 力

- 交通体系整備の推進
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 太陽光発電の防犯灯と防犯カメラ設置
- デジタル弱者対策

#### 村上 真由美

- 重層的支援体制整備事業の推進
- 誰もが安心して暮せる制度の充実

#### 増田 秀雄

- 脱炭素社会構築への取り組みについて
- 小中学生の通学時における交通安全対策について
- 福祉問題に対する相談体制の充実について
- 認知症に対する啓発、見守りについて

#### 田口 義博

- 農業振興対策について
- 町のシテイプロモーションの取り組みは
- 交通安全対策について（主要地方道松伏春日部関宿線）

#### 福井 和義

- 人口減少を抑制できる都市計画

#### 砂川 清時

- 人口の流出の抑制と定住促進を主眼とした取組みについて
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

#### 松岡 高志

- コミュニティ・スクール導入における地域社会総がかりの学校教育について

#### 高野 祐大

- 町民に信頼される行政を目指し、EBPM（エビデンスに基づく政策立案）の推進を

#### 平野 千穂

- 加齢に伴う難聴者の早期発見と、補聴器の購入補助を求める
- 女性の役付職員への積極的な登用と男性職員の育休促進を
- 子ども・教職員などのコロナ感染防止対策について

#### 吉田 俊一

- 交通不便地域や高齢者のための交通政策の推進を
- 令和4年度の国民健康保険の事業費納付金、運営について
- 新型コロナに対応する検査と医療体制充実を国や県に求めよ
- 地方交付税など一般財源の確保の見通しについて

10人の議員が町政を問う



かわかみ つとむ  
**川上 力** (公明党)

**Q** 社協の買い物支援事業の実施概要

**A** 週1回1日1便運行予定

**問** 社会福祉協議会の買い物支援事業の実施概要は。また、町として積極的に広報し町民への周知を。

**答** **企画財政課長** 買い物に不便をきたしている町民を町内のスーパーに送迎するもので、利用者が集合場所に集まり、社会福祉協議会の車両で町内スーパーに行き、買い物終了後、自宅近くまで送ることを考えている。運行は週1回、1日1便で、利用者は事前登録が必要で利用料をいただく予定。事業開始の際は、町広報紙やホームページ等で、町民に対し利用促進に向けた積極的な周知を行う。

**問** 東埼玉道路と道の駅ができる松伏町こそ、町が主体となった新しい交通政策が必要、実証実験などを計画していくつもりはないのか。

**答** **企画財政課長** 道の駅を拠点とした町独自の交通政策は、将来的には実証実験も含め検討していく。

**問** 町には携帯ショップがない。デジタル弱者対策を

出前講座のメニューに加えてはどうか。

**答** **教育文化振興課長** 今後、民間事業者の協力を得て中央公民館や多世代交流学習館で行う講座として検討を進めていく。

**問** 町のホームページのトップページ「発熱したら」などの周知を。

**答** **すこやか子育て課長** 町民の新型コロナウイルスに対する不安を少しでも解消できるよう、よりわかりやすい表示方法を検討する。



むらかみ まゆみ  
**村上 真由美** (公明党)

**Q** コミュニケーション条例の制定を

**A** 条例の制定に向け取り組んでいく

**問** 手話言語条例の意義を含んだ障がいをもつ全ての方が、地域で安心して生活できる社会を実現するための条例（コミュニケーション条例）を制定してはどうか。

**答** **いきいき福祉課長** 今後情報コミュニケーション条例の制定に向けて取り組んでいきたい。

**問** ヤングケアラー支援には教育部局との連携も大切になると思う。役場内において検討会議などを立ち上げる予定はあるのか。

**答** **すこやか子育て課長** 検討委員会の設置の予定はない。令和4年4月1日から子ども家庭総合支援拠点を設置して、子どもや、子育てをする親などが相談しやすい環境を整えていく。

**問** 町が委託している地域包括支援センターで介護サロンを推進してはどうか。

**答** **いきいき福祉課長** 毎月1回ふれあいセンターで介護サロンを開催している。地域包括支援セン

ター職員が出席し、サポートを行っている。

**問** パートナーシップ認証制度は令和3年6月議会で請願が採択された。町の導入見込みを聞く。

**答** **企画財政課長** 令和3年度は、町職員や町内小中学校教職員に「LGBT等基礎研修」を実施した。また、「性的少数者（LGBT等）に配慮した対応ガイドライン～松伏町職員・教職員のために～」の策定を進めている。





ますだ ひでお  
**増田 秀雄** (未来クラブ)

**Q** 小中学生の通学時交通安全対策は

**A** 優先順位を定め計画的に実施する

**問** 小中学生の通学時の交通安全対策について。  
**答** **教育総務課長** 小学校では、入学説明会や入学式で、安全な登下校の仕方や通学班、こども110番の家について説明をしている。また、入学後、交通安全指導教室を実施し、実践を通し交通ルールの確認をしている。また下校時は、保護者の方にも可能な限り、子供たちの見守りをお願いしている。中学校では、入学直後にオリエンテーションを実施し、自転車点検の実施し、安全な登下校の仕方を確認している。

事務職のため、スキル向上は、日々のケースワーク等の積み重ねによる。今後は専門職の配置や、福祉部門の経験の長い職員をコーディネータ役として専従させ、長期的視点にたった組織改革を行い、併せて、相談業務を専門機関に委託するなど、地域資源を有効に活用し、増加が見込まれる複合的課題に対応していきたいと考えている。

**問** 福祉問題に対する相談体制の充実について。  
**答** **いきいき福祉課長** 福祉問題は、社会的孤立をはじめ複数の生活上の課題を抱えるケースが増加している。今後の福祉制度や政策は、重層的支援体制の整備が求められる。既存の支援機関等の機能や専門性を活かしつつ、相互にチームとして連携を強め支援体制を強化する必要がある。また、役場職員は、保健師等の専門職を除き、殆どが一般



通学路の町道3号線拡幅工事では、安全性を高めるため歩車道が分離された



たぐち よしひろ  
**田口 義博** (自民クラブ)

**Q** 歩行者の安全な道路環境を

**A** 取締りの依頼をしている

**問** 築比地地内を通過する県道42号線では、歩行者の危険度が改善されていない。県道内に設置されている交通の監視カメラのようなものは、何か。  
**答** **総務課長** 吉川警察署に確認したところ、非公開との回答であったが、概要等は確認している。

査や交通量調査を実施することも検討する。

**農業振興対策**

**問** 「大型車両の違法通行が後を絶たず、地元住民からも対策の遅れを指摘されている。町は警察署に対しどの様に説明と対応をお願いしているのか。

**問** 町長は、6次産業に関して強力な消費地、いわゆる道の駅みたいところで売れる場所を保証すること、地域の新鮮な野菜を提供することが政治の役割。そと集大成が「道の駅」だと、1年前答弁された。今もその考えに変わりはないか。

**答** **総務課長** 吉川警察署には違法車両の取締りを依頼している。また、署長には直接、要望内容を伝えている。吉川警察署と連携し安全対策に努める。※2月22日には取締りが実施された。

**答** **町長** 変わりはない。農家の人に光を与えたい。

**問** 2月2日自身での交通量調査では、表のとおり大型車両の通行が確認された。今後様々な計画（例えば道の駅）の中に生かすことができる。主要道路の交通量調査を行う考えは。

県道42号線の交通量調査 令和4年2月2日  
調査地点：旧JAさいかつ金杉支店前

時間帯	上り(野田方向)				下り(春日部方向)			
	大型車		小型車		大型車		小型車	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
7:25~9:00	17	33	505	557	111	104	311	392
9:30~11:00	64	73	382	397	163	190	365	364
13:10:14:10	24	25	210	239	68	94	223	281
合計	105	131	1097	1193	342	388	899	1037

前回の調査日は 平成29年2月14日 ※路線バス・バイクはカウントしない。  
※大型車:ダンプ・トレーラー ※小型車:乗用車・中型車を含む貨物車





ふくい **福井** かずよし **和義**

(無所属クラブ)

**Q** 人口減少を抑制できる都市計画

**A** 職住近接の都市計画を進めている

**問** 松伏町は、急激に人口減少が進んでいる。令和2年は339人、3年は282人減少している。そして、令和22年、人口は約2万2千500人まで減少すると予想されている。そこで、人口減少を抑制するには、町民、事業者、行政が協力して、新しい発想の都市計画が必要である。

松伏町の特徴は、

- ①、松伏町は首都圏30kmに位置し、公共交通機関、バスと電車を使って上野駅まで約60分と便利で土地も安い。
- ②、松伏町は江戸川、中川、古利根が流れ、県立まつぶし緑の丘公園の里山からの眺めは、東に筑波、西に富士、水と緑豊かな水郷の町。
- ③、地域の自然、歴史、文化などの資源や風土を生かした個性豊かな新しい松伏町。

このようなまちの特色を最大限活用した都市計画を実行すれば、人口減少を抑制できると考える。町は、人口減少を抑制できる都市計画をどのように考えているのか。

**答** **新市街地整備課長** 松伏町第5次総合振興計画後期基本計画の中で、人口増を目指す戦略として、新市街地の土地利用、企業誘致の推進、雇用機会の拡充を掲げて、職住近接を目指した新たな人口増の受皿として、都市計画を進めている。



都市計画で建てられたゆめみ野団地



すながわ **砂川** きよとき **清時**

(自民クラブ)

**Q** 松伏田島産業団地の雇用数を問う

**A** 進出会社3社で約3,300人

**問** 松伏田島産業団地の引渡し時期と雇用数について。  
**答** **新市街地整備課長** 令和4年の夏頃を予定し、その後各企業が建築工事を始める。雇用数は、進出会社3社合わせて約3,300人を見込む。

**問** 東埼玉道路と浦和野田線が結節する松伏インターチェンジ周辺の開発構想について。

**答** **新市街地整備課長** 現時点では、工業系もしくは商業系の土地利用で、公的開発もしくは民間開発により市街化区域の編入、あるいは市街化調整区域における地区計画の手法にて土地利用転換を図る。住宅地としての開発は、現状難しい。

**問** 令和3年スタートの結婚新生活支援事業について。

**答** **すこやか子育て課長** 若年世代が婚姻に伴い本町へ転入、引っ越した際に住宅の取得や賃貸に係る費用及び引っ越しに係る費用を支援するもの。2月16日時点で3件申請があり、内1件は支援済。支援要件は、年齢39歳以下で、夫婦の所得

を合わせて400万円未満の世帯になる。

**問** 新型コロナワクチン3回目接種の前倒しについて。  
**答** **すこやか子育て課長** 個別接種会場を4か所から7か所に増設。約9,000人の方に前倒し接種できるよう整備した。

**問** 5歳～11歳の小児へのワクチン接種について。  
**答** **すこやか子育て課長** 宮里こどもクリニックでの個別接種を3月18日から開始した。



小児の新型コロナウイルスワクチン接種の案内 (保護者向け)  
出典 厚生労働省



まつおか たかし  
**松岡 高志** (未来クラブ)

**Q** 地域社会総がかりの学校教育を

**A** 学校運営協議会の定着を図る

**問** 松伏町では、令和4年度から学校運営協議会を設置した学校に、コミュニティ・スクールを導入することになった。学校運営協議会では法律に基づき教育委員会より任命された委員が一定の責任と権限をもって、学校の人事や学校運営、そのために必要な支援について協議する。これによって、より安定的で地域協働性の高い学校づくりが期待されるが、その学校運営協議会の体制と運営をどう考えているか。

**答** **教育総務課長** 委員の人数は5名とし、任期は1年間で、再任は妨げないとする。令和4年度は運営の基本方針の承認から行い、学校運営協議会の基礎を構築していく。2年目以降は、会議で話題になったことを実現するために積極的に地域や保護者が関わる「協働」による学校支援体制を強化していく。

**問** コミュニティ・スクールの導入について、教育長の見解はどうか。

**答** **教育長** 子ども、学校を取り巻く環境は非常に複

雑化し、社会総がかりで子どもたちを育てていくことが必要だと言われている。その1つがコミュニティ・スクールだと私も捉えている。教育委員会として、学校任せにせず、資料の提供、情報の提供、それから情報交換、研修の場の機会をつくるなどを通して、支援していきたいと考えている。

「地域の子供は、地域で育てる」  
→まずは目指すべき子供像を共有



埼玉県教育委員会資料から



たかの まさひろ  
**高野 祐大** (チェンジ松伏)

**Q** 最上位計画をアライバイしている

**A** 総合的に表現させて頂いている

**問** 松伏町では、たまたま条件のいい補助金のスキームを見つけたとか、ある種の場合当たりの事業採択にはなっていないか。

**答** **企画財政課長** 実際、場合当たりのと言われてしまえば、それ限りになる。

**問** 全庁的に計画遂行状況を評価して、どのようなアクションを取ればいいのか検討する、独立したルーティンの導入は可能か。

**答** **企画財政課長** 関係各課に進捗状況を取りまとめてフィードバックする。必要に応じて事業の見直し等を行いながら進めている状況。

**問** その取りまとめた結果、フィードバックした内容は公表されていないのか。

**答** **企画財政課長** 特に公表はしておりません。

**問** 時間がないからできないというのは、仮に時間が

たっぷりあってもやらないことが多いのではないかと。できない理由を挙げるよりも、どうすれば忙しい中でもできるのかというのを考えていただければと思う。EBPMの前提として、施策や事務事業にロジックモデルの導入は可能か。

**答** **企画財政課長** 非常に欠かせない1つのツール。重要性は十分理解している。今後は、全ての事業に対してEBPMの考え方、政策と効果を検証するといった視点をもって取り組んでいける手法について勉強していきたい。

行政評価の導入状況(平成28年10月1日現在)

市町村	導入状況	市内各市町村(さいたま市を除く)62市町村の概要	
		市町村数	割合(%)
草加市	導入済		
越谷市	導入済	48	77.4%
八潮市	導入済	6	9.7%
三郷市	導入済	2	3.2%
吉川市	導入済	3	4.8%
松伏町	予定なし	3	4.8%
宮代町	導入済		
杉戸町	導入済	計	62

埼玉県「地方公共団体における行政評価の取組状況等に関する調査」をもとに作成  
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/31264/gaiyou281001.pdf>)



ひらの ちほ  
**平野 千穂** (日本共産党)

**Q** 子どものコロナ感染拡大防止策は

**A** 検査キット活用は大変重要と認識

**問** コロナ第6波では子どもたちの感染がこれまでになく多く、松伏町でも学級閉鎖や学年閉鎖が何度も報告されている。新年度には、修学旅行や林間学校など宿泊を伴う行事が予定されている。感染拡大の未然の防止、クラスターになった場合など緊急時の備えは必要。教育委員会の見解を問う。

**答** **教育総務課長** 検査キットを活用した検査体制は大変重要と認識している。現在、使用期限が有効なキットは教育委員会として保管していないため、今後、検査キットの整備について、さらに調査・研究を続けていく。

**問** 保育士や教職員、学童保育の指導員など、子どもたちと日々接する方々への3回目ワクチンの優先接種が求められている。実施できないか。

**答** **すこやか子育て課長** 国から特に要請のあった教職員、学童クラブ・保育所などの職員、障がい福祉事業者などの従事者への優先接種が、一般の方の接種に影響を与えずに実施することが可能と確

認できた。各施設での取りまとめ報告を受け、今後、中央公民館で優先接種を行っていきたい。

**問** 女性職員の登用状況、男性職員の育休状況を問う。①女性職員の比率、②女性役付職員の比率、③男性町職員の過去5年間の育児休業取得率は。

**答** **総務課長** ①職員総数の30%、②係長級20%、課長級6.7%、③育児休業取得者はいない。



よしだ しゅんいち  
**吉田 俊一** (日本共産党)

**Q** 健康長寿とむすんだ交通政策を

**A** 健康寿命を伸ばす政策考えている

**問** 「街の幸福度」全国1位になった鳩山町で、「良いところは」とインタビューされた高齢者の方たちが「町内どこでも100円で移動できるデマンドタクシー」と答えるテレビ報道があった。健康寿命が埼玉県1位であることも紹介されていた。鳩山町での取組は、松伏町でも参考にできる事例ではないかと考えている。松伏町での交通不便地域の対策や高齢者のための交通政策について、どのように取り組んでいくのか。

**答** **企画財政課長** 高齢者の外出機会を拡大するため、高齢者福祉タクシー（助成）を実施してきた。新年度は要件を緩和し対象者を拡大する。また社会福祉協議会が実施主体として買い物支援事業を開始（週1回1日1便、魚沼と築比地が対象）。事業実績等を調査研究していく。

**問** 交通不便地域や高齢者の交通政策としてデマンド交通のことを取り上げてきた。町は実施できない理由を財政問題としてきた。健康長寿の取組とし

て、位置づけを高めることができないのか。デマンド交通も県内のケース、成功事例をよく調査し、実施すべきではないか。

**答** **町長** 鳩山町の健康寿命をのばす3要素（運動、栄養、社会参加）は私も研究報告を読んでいる。新年度実験をみて人気があれば拡大も必要。議員が言う成功事例も勉強していききたい。



2021年幸福度ランキング全国1位を紹介する鳩山町ホームページ



3月議会・傍聴者数

2月25日	2名	3月9日	1名
3月1日	8名	3月11日	0名
3月2日	2名	3月14日	0名
3月3日	9名	3月16日	1名
3月7日	1名	3月18日	0名
合計		24名	

傍聴者の声

- 大事な予算、議会にて“住民が幸せを感じられる”よう、活発な討論を期待します。
- ポストコロナもにらんで住民の健康に関する介護予防体操など、住民に関心あるイベントの開催が肝要と思う。翻ってイベントではないが、議会傍聴もその一つ。住民が関心を持つ内容の質疑が多くなれば傍聴者の増加も期待できる。
- 健康寿命を伸ばす取組みは、栄養、運動、社会参加、休息が重要。歩いて通えるご近所さん体操に代表される介護予防運動拡充（男の体操など）により楽しく老後を過せる街づくりができるものと思う。



令和4年1月29日  
福祉避難所開設訓練（北部サービスセンター）



令和4年3月4日～5月31日  
ウクライナ人道危機救援金箱（役場ロビー）

【編集後記】 田口 義博

議会広報発行特別委員会委員長として2年間、編集委員とも様々な協議を重ね、より良い紙面づくりに努めてまいりました。時には町民の方からこうした方が良いとの意見も頂きました。

紙面ではわからないこと沢山あります。ぜひ議会に足を運んでいただけますように。

- 議長 増田 等
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 田口 義博
- 副委員長 長谷川 真也
- 委員 平野 千穂
- 委員 増田 秀雄
- 委員 砂川 清時
- 委員 村上 真由美
- 委員 高野 祐大